

2018年3月7日

東急不動産株式会社

100年に1度と言われる再開発で、新しい時代に向け変革が進む都市・渋谷

道玄坂一丁目駅前地区第一種市街地再開発事業

## 新「東急プラザ渋谷」、新時代の商業施設を開発

～成熟した大人たちへ「MELLOW LIFE（メロウ ライフ）」を提案～

東急不動産株式会社（本社：東京都港区、社長：大隈 郁仁）は、当社が組合員および参加組合員として参画する道玄坂一丁目駅前地区市街地再開発組合で推進中の『道玄坂一丁目駅前地区第一種市街地再開発事業』（以降、本プロジェクト）の商業施設ゾーンにおいて「東急プラザ渋谷」を開業することをお知らせいたします。新たに生まれ変わる「東急プラザ渋谷」は、次世代に向けた「MELLOW LIFE（メロウ ライフ）」を提案する新時代の商業施設を目指します。

※「東急プラザ渋谷」は本プロジェクトの2階～8階、17階、18階の商業施設部分の名称です。



「MELLOW LIFE」イメージ

外観（北東側）イメージ

## ■ 進化した「東急プラザ渋谷」で、新たな挑戦

これまで多くの流行や文化を生み出し、成長してきた渋谷において、現在、東急グループは「エンタテインメントシティSHIBUYA」を掲げ、100年に1度と言われる再開発を関係者と協力して推進しています。渋谷の魅力である「多様な人・文化・個性の混在」を活かし続け、世界を牽引する新しいビジネスやカルチャーを発信することが渋谷再開発のビジョンです。

人生100年時代と言われ、世界に先駆けて超高齢化社会を迎える日本では、人々の価値観やライフスタイル、消費行動が大きく変化する、新たな時代へ突入しており、渋谷もこの再開発を契機に新たなステージへと変革することを目指しています。

常に新しい流行や文化を生み出してきた渋谷の中で、民間企業初の複合商業施設である旧東急プラザ渋谷は、当社にとって挑戦の象徴でした。その跡地であるこの場所で、当社は新時代のニーズに応える新しい商業施設として、より進化した「東急プラザ渋谷」をつくることに挑戦します。



## ■ 本施設から発信していく新しいライフスタイル ～「MELLOW LIFE」～

本施設のターゲットは、「都会派の感度が成熟した大人たち」です。積み重ねた人生で磨かれたセンスを持つ成熟した大人たちに向けて、本施設は、今までにない商業施設空間と価値観を提供します。

「本物」「本質的」「普遍的」なものの良さを大切に、時間を積み重ね「成熟」していく豊かな人生を楽しむこと、それを当社は“MELLOW LIFE（メロウ ライフ）”と名付け、新時代に向け新しいライフスタイル観を提案します。「MELLOW」は、“<光・色・声・音など>豊かで美しい、豊潤な”といった意味を持つ言葉です。

多様性を保ちながら、新しいトレンドを発信し続ける街・渋谷だからこそ、年月を重ねていくことの面白さや、トレンドと本質的な良さの両方を楽しむことなど、これまでになかった新しい価値観を発信していく意味があると当社では考えています。

変化し続ける時代の中で、本施設が、出店店舗をはじめとした各事業者にとって新たな挑戦の機会・ステージとなり、ともに新時代のマーケットをつくっていくことを目指します。

## ■ 本施設が提供する“価値”

新しいライフスタイルを発信する商業施設として、従来のモノやコトをお客様に一方的に提供するのではなく、ソリューションや体験を提供することで、お客様の「パートナー」として人生に寄り添うことができる新しい商業施設を目指します。

「美」、「健康」、「食」をはじめ、「ライフプラン」のサポートまで、成熟した大人たちのニーズに応える店舗構成を予定しています。

### <本施設が提供する“価値”の一例>

美

いつまでも若く美しく  
ポジティブエイジング。  
今の自分にしか楽しめない  
BEAUTY/FASHIONを。

健康

前向きに自分の体と向き合い  
向上させていくことを楽しむ。  
そのための機会や仲間、  
課題へのソリューションを。

食

素材や産地にこだわりぬいた「本物」  
を楽しむ。  
そして、家族、三世代、友達や仲間と  
過ごす最高の時間を。

ライフ  
プラン

時間の過ごし方、日々の暮らしの  
サポート、資産の運用など  
これからの人生を謳歌するための  
幅広いサポートを。

## ■ 東急プラザ渋谷とは

1965年6月13日に専門店複合商業ビルの「渋谷東急ビル」として渋谷駅前に開業。その後、1973年に「渋谷東急プラザ」に、2012年に「東急プラザ渋谷」に名称を変更しながら、2015年3月22日の閉館まで、49年間に渡り営業を続けました。ファッションからレストラン、生鮮食品まで備える老舗テナントビルとして、渋谷を訪れるお客様に長年愛されてきました。



1965年開業当初の  
「渋谷東急ビル」



2015年閉館前の  
「東急プラザ渋谷」

## ■ 施設概要

### (旧) 東急プラザ渋谷

所在地 東京都渋谷区道玄坂一丁目2-2  
開業年月 1965年6月（2015年3月閉館）  
階数 地下2階～地上9階

### (新) 東急プラザ渋谷

所在地 東京都渋谷区道玄坂一丁目38番（地番）  
竣工 2019年秋（予定）  
階数 地上2階～8階、17、18階



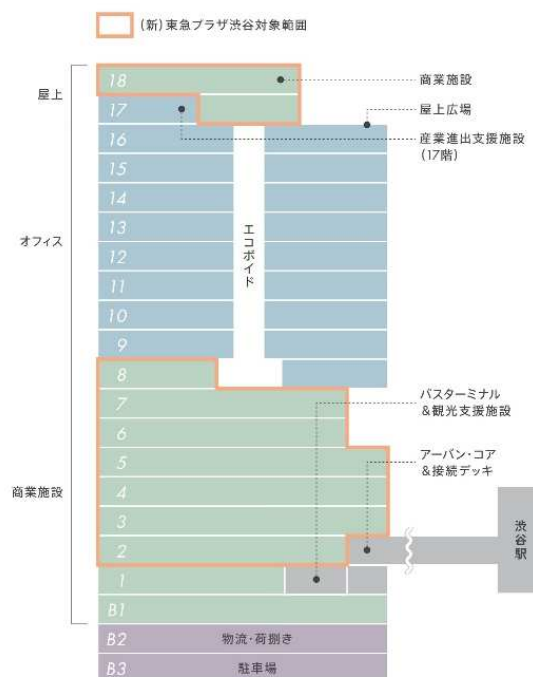
## ■ 道玄坂一丁目駅前地区第一種市街地再開発事業とは

2019年秋の竣工を予定している本プロジェクトは、旧東急プラザ渋谷および隣接する街区を一体開発するもので、東急グループが関係者と共に推進中の渋谷駅周辺再開発のプロジェクトのひとつです。本プロジェクトが2階レベルで渋谷駅と歩行者デッキで直結することで、駅から周辺へと街に広がりを生み出します。

9～17階のオフィス、2～8階および17、18階の本施設の外に、屋上には渋谷の街を訪れる方の憩いの場となる屋上広場を計画しています。

また、1階には空港リムジンバスも乗り入れるバスターミナルをはじめ、観光支援施設も設置し、渋谷駅西口の新たな玄関口となることが渋谷再開発における本プロジェクトの役割です。

多世代やインバウンドの方々を受け入れる本プロジェクトの開業によって、多様性という渋谷の魅力をより一層高めることができるよう、地域とともに賑わいある街並みづくりを進めてまいります。



## ■ 事業概要

**道玄坂一丁目駅前地区第一種市街地再開発事業** ※本プロジェクト全体の施設名は後日発表予定です。

事業主体	道玄坂一丁目駅前地区市街地再開発組合
所在地	東京都渋谷区道玄坂一丁目38番(地番)
用途	店舗、事務所、駐車場等
敷地面積	約3,336㎡
延床面積	約58,970㎡
階数	地下4階～地上18階(建築基準法上は19階)
高さ	約103m
設計者	(デザイナー・アーキテクト) 手塚建築研究所 (マスター・アーキテクト) 株式会社日建設計 (設計・監理) 清水建設株式会社一級建築士事務所
施工者	清水建設株式会社
竣工	2019年秋(予定)



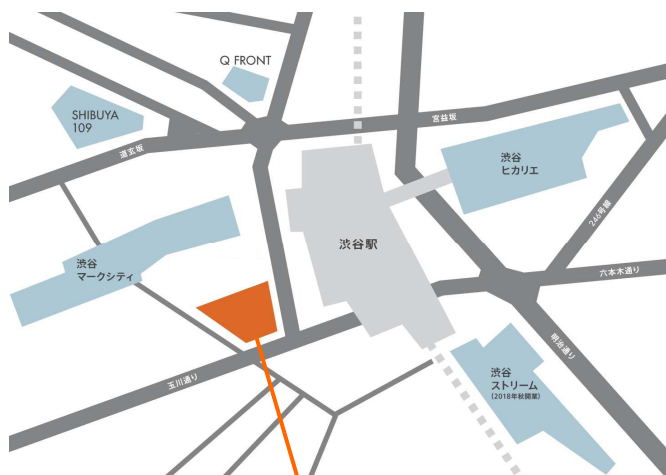




外観(南西側) イメージ



アーバン・コア イメージ



計画地  
**東急プラザ渋谷**  
(道玄坂一丁目駅前地区内)



周辺街路整備(北西側) イメージ

**Contact us**

本件に関する  
お問い合わせ先

＜商業施設リーシングに関するお問い合わせ先＞

東急不動産株式会社 都市事業ユニット 都市事業本部 商業施設営業部

担当：瀬志本、東、柳沼

TEL：03-5414-1448

